

京都府総合計画の 進捗状況について

令和 6 年 8 月 2 3 日
京都府総合計画推進会議



京 都 府

京都府総合計画の概要

■ 京都府総合計画の概要

- ◆ 令和4（2022）年12月改定（計画期間：令和5年4月～令和9年3月末）
- ◆ 「将来構想」「基本計画」「地域振興計画」により構成
- ◆ 「基本計画」には、京都府がめざす施策の方向性を「安心」、「温もり」、「ゆめ実現」の3つの視点に基づいてまとめた「**8つのビジョンと基盤整備**」や府全域で連携して相互に施策効果を高めていく「**8つの広域連携プロジェクト**」を示したほか、103の数値目標を設定
- ◆ 【評価項目】 **令和5年度の実施状況**

将来構想

2040年に実現したい**京都府の将来像**を描いた構想

基本計画

8つのビジョンと基盤整備

- ・ 将来像の実現に向けて、8つのビジョンとそれらを支える基盤整備について記載

8つの広域連携プロジェクト

- ・ 府域の均衡ある発展に向けて、オール京都のプレーヤーと府全域で連携

分野別基本施策

- ・ 20の分野別に、現状分析・課題、4年間の対応方向・具体方策、数値目標を体系的に明示

地域振興計画

山城・南丹・中丹・丹後の広域振興局ごとに、各地域の資源や特性を生かした地域振興策

京都府総合計画の令和5年度の実施状況
～ 8つのビジョンと基盤整備～

① 安心できる健康・医療・福祉の実現

8つのビジョンと
基盤整備

人生100年時代に対応した、府民が安心して地域生活を営める、危機に強い健康・医療・福祉システムを創り上げ、質の高い、持続可能な医療・介護・福祉サービスを府内のどの地域でも受けられる環境を実現

初年度（令和5年度）の主な成果

循環器病相談体制の整備

- 脳卒中・心臓病に特化した専門性とネットワークを有する京都府立医科大学附属病院等において、循環器病に係る相談対応等を行う「**脳卒中・心臓病等総合支援センター**」を運営し、循環器病患者・家族への支援を実施 【相談件数：966件】



児童虐待の未然防止への取組

- 保護児童の養育に関して専門的ノウハウを有する丹後地域の児童福祉施設（乳児院）に「**丹後こども家庭支援センターCOCO**」を**開設**し、府北部地域における児童虐待の未然防止・早期発見を行う体制を強化 【相談件数：82件】



到達目標及び達成状況

目標	実績数値(R5)	達成率
▶ 「健康寿命」を2016年から2026年までに 1.25歳延伸 する	※3年毎に調査実施 次回(R4健康寿命) はR6公表予定	—
▶ 「介護老人福祉施設・介護老人保健施設等の入所定員総数」を2023年度に 24,214人(床) とする	23,947人(床) (R6.3月時点)	98.9%
▶ 「介護人材」を2021年度から2023年度の3箇年で新たに 7,500人 確保する	7,758人 ※R3~5の累計	103.4%
▶ 「介護予防事業(サービス内容や地域等)を拡充したNPO数」を累計 300団体 とする	200団体 (R6.3月時点)	66.7%

方策毎の取組状況(例)

総合計画に掲げた主要な方策(抄)

- ▶ 高齢者や障害者が安心して必要な医療を受けられるための医療費等の負担軽減

令和5年度の進捗状況

市町村が実施する福祉医療給付事業等に助成し、高齢者、重度心身障害児(者)及び重度心身障害のある高齢者の健康の保持・増進を図るとともに、「**重度障害者医療助成制度あり方検討会議**」を立ち上げ、**重度障害者の医療助成制度のあり方について検討**

令和6年度以降の方向性

重度心身障害児(者)医療費助成制度について、**精神障害のある方を対象とした医療費助成制度を創設**

② 災害・犯罪等からの安心・安全の実現

あらゆる分野に潜むリスクに対し、危機を未然に防ぎ、被害を最小限に抑える対策や仕組みづくりを進め、府民との信頼関係を度立ちに、あらゆる危機事象に迅速かつ的確に対応できる危機に強い京都づくりをオール京都で構築

初年度（令和5年度）の主な成果

危機管理センターの整備

- 自然災害や大規模事故等のあらゆる危機事象に迅速・的確に対応し、国等の応援受入にも対応できる拠点として、常設の危機管理センターを整備し、令和6年3月に主要な機能を運用開始



災害現場の早期復旧

- 大規模な浸水、土砂災害等に備えた総合的な防災・減災対策を行うとともに、令和5年台風第7号被害に係る災害復旧、被災者の生活再建支援、農業者・中小企業者の復興支援等を実施



孤立集落解消済



孤立集落解消済

到達目標及び達成状況

目標	実績数値(R5)	達成率
▶ 「防災士資格取得者の人数（累計）」を 2,700人 にする	2,662人(累計) (R6.3月時点)	98.6%
▶ 「刑法犯認知件数」を 年間15,000件以下 に維持する	11,885件 (R5.12月時点)	120.0%
▶ 「年間の交通事故死者数」を 40人以下 に減少させる	59人 (R5.12月時点)	52.5%

方策毎の取組状況（例）

総合計画に掲げた主要な方策（抄）

- ▶ 府内最大の被害が想定される花折断層帯地震をケーススタディとし、発災からの被害様相の変化予測を踏まえた防災体制の強化や、社会活動の維持と早期復旧方策等の検討を推進

令和5年度の進捗状況

大規模災害発生時の対応力の強化に向け、**花折断層帯地震をモデルに、被害想定や復旧の過程を調査**するとともに、発災から応急復旧までのシナリオ作成を実施

令和6年度以降の方向性

能登半島地震の教訓も踏まえ、**第三次京都府戦略的地震防災対策指針・推進プラン及び京都府地域防災計画等を改定**

③ 子育て環境日本一・京都の実現

「社会で子どもを育てる京都」の実現に向け、「子育て環境日本一」の取組を進化

8つのビジョンと
基盤整備

初年度（令和5年度）の主な成果

子育て支援医療助成制度の拡充

- 子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、**京都子育て支援医療助成制度を拡充**し、
3歳～小学校卒業までの通院に係る**自己負担の上限額を大幅に引き下げ**

現 行	入院	中学校卒業まで：200円/月・医療機関
	通院	0～2歳 ：200円/月・医療機関 3歳～中学校卒業まで ：1,500円/月
↓		
拡 充 後	入院	中学校卒業まで：200円/月・医療機関
	通院	小学校卒業まで ：200円/月・医療機関 中学生 ：1,500円/月

子どもの教育のための総合交付金の創設

- 教育環境日本一に向け、**「子どもの教育のための総合交付金」を創設**し、語学力の向上や一人一台端末を活用した学習の充実、地元食材の活用等による食育の充実など市町村による「地域の実情に応じた特色ある取組」や「他の市町村のモデルとなる取組」を支援



到達目標及び達成状況

※ 当該ビジョンに関する到達目標7指標のうち、4指標を抜粋

目標	実績数値(R5)	達成率
▶ 「住んでいる地域が、子どもが育つのに良い環境だと思う人の割合」を 90.0% に上昇させて維持する	74.5% (R5.5月時点)	82.8%
▶ 「子育てに喜びや楽しみを感じている親の割合」について 96.0%以上 をめざす	92.2% (R5.5月時点)	96.0%
▶ 「子育て環境日本一に向けた職場づくり行動宣言を行った企業数」を 3,000社 にする	2,477社 (R6.3月時点)	82.6%
▶ 「合計特殊出生率」を2040年に 全国平均 並みとなることをめざす ※R5：全国平均1.20	1.11 (R5.12月時点)	92.5%

方策毎の取組状況（例）

総合計画に掲げた主要な方策（抄）

- ▶ 「子育て環境日本一」の地域づくりを牽引し、府域全体に取組の輪を広げる「子育て環境日本一推進条例」の制定



令和5年度の進捗状況

「子育て環境日本一」の京都の実現に向け、**新条例を制定**するとともに、**「京都府子育て環境日本一推進戦略」を改定**



令和6年度以降の方向性

改定した「京都府子育て環境日本一推進戦略」に基づき、**4つの重点戦略と20の重点プロジェクトに取り組む**ことで、引き続き「子育て環境日本一」を推進

④ 誰もが活躍できる生涯現役・共生京都の実現

8つのビジョンと
基盤整備

地域や社会との絆を大切にしながら、新たな働き方や多様な価値観の広がりを踏まえた機会の提供や能力の開発を進め、包括的で多様な人材がより社会参画・活躍できる共生社会を実現

初年度（令和5年度）の主な成果

リカレント教育の充実

- 京都府生涯現役クリエイティブセンターの支援対象を全世代に拡大するとともに、リカレント教育の機運醸成のため「京都学び直し体感フェア2023」を開催



女性活躍支援

- 女性の様々なニーズに対応するため、「京都ウィメンズベース」、「マザーズジョブカフェ」、「京都府男女共同参画センター（らら京都）」、「京都府生涯現役クリエイティブセンター」が連携し、女性のキャリア形成等の支援を実施



中核人材育成研修

到達目標及び達成状況

目標	実績数値(R5)	達成率
▶ 「仕事をはじめ社会的な生活を営む上で、自分の持っている才能や知識、 技量などが十分に発揮できていると思う人の割合」を 70.0% に上昇させる	51.9% (R5.5月時点)	74.1%
▶ 「京都府生涯現役クリエイティブセンター等での就業（失業なき労働移動）支援件数」について、毎年度3,300件の実施をめざし、2026年度に累計 13,200件 とする	4,115件 (R6.3月時点)	31.2%
▶ 「今の社会は、性別によってやりたいことが制限されていると思わない人の割合」を 70.0% に上昇させる	48.4% (R5.5月時点)	69.1%

方策毎の取組状況（例）

総合計画に掲げた主要な方策（抄）

- ▶ オンラインやメタバース等の技術を活用した、時間や場所を問わない学び直しの機会を提供する、「京都版ミネルバ大学」の開設

令和5年度の進捗状況



リカレント教育推進機構の体制を強化するため、産業支援機関等を追加し、効果的な研修プログラム等を検討するための検討部会を設置。検討部会での議論を踏まえた**研修や講演を対面及びオンラインで開催**



令和6年度以降の方向性

オンラインによるどこからでも学べる環境整備のために開設した**「KYO育tv.」を活用**するなど京都府生涯現役クリエイティブセンターが取り組むリカレント教育を強化し、**学び直しの機会の更なる充実を図る**

⑤ 共生による環境先進地・京都の実現

8つのビジョンと
基盤整備

ライフスタイルの変化を環境負荷の低減につなげ、環境に配慮した活動を地域経済の活性化につなげる、環境×暮らし×経済の好循環をめざす、環境と共生した社会づくりを推進

初年度（令和5年度）の主な成果

生物多様性センターの設立

- ▶ 京都の伝統文化や暮らしを支えてきた「京都の自然の恵み」を守り、次世代につなぐため「きょうと生物多様性センター」（名誉センター長：山極 壽一 総合地球環境研究所長）を府市協調で設立し、生物多様性保全の取組を展開【令和5年4月運営開設】



ゼロカーボンまちづくりの推進

- ▶ 脱炭素関連技術を組み合わせた共創プロジェクトを創出するオープンイノベーション拠点「ZET-valley」に必要な機能、設備等を検討するとともに、国内外の関連スタートアップ企業と大企業等の交流の場として「ZET-summit」を開催【参加者数：約2,500人、マッチング数：126件】



「ZET-summit2024」の開催（R6.2.6～7）

到達目標及び達成状況

目標	実績数値(R5)	達成率
▶ 「温室効果ガス排出量削減率（2013年度比）」を2030年度までに 46% とする	※R7.8月頃 公表予定	—
▶ 「府内の総電力需要量に対する府内の再エネ発電電力量の割合」を2030年度までに 25% とする	※R7.5月頃 公表予定	—
▶ 「府内の総電力需要量に占める再エネ電力使用量の割合」を2030年度までに 35% とする	※R7.5月頃 公表予定	—

方策毎の取組状況（例）

総合計画に掲げた主要な方策（抄）

- ▶ 家庭やオフィス等における省エネ機器の導入促進や、窓や壁等の断熱化など、建物の脱炭素化を総合的に支援し、ZEHやZEB等の普及を促進

令和5年度の進捗状況

中小事業者等が実施する省エネ設備等への更新を支援するとともに、府有施設、市町村及び中小企業者等を対象にZEB化や省エネ設備の導入に関する助言等を実施

【更新支援：10件、助言先：計12件】

令和6年度以降の方向性

国交付金を活用し、脱炭素型ライフスタイルへの転換に向け、**家庭向けに省エネ家電やZEH住宅の購入を支援する制度を新たに創設するとともに、事業者向けに省エネ機器の導入の支援を継続し、**府内の温室効果ガス排出量削減に取り組む

⑥ 未来を拓く京都産業の実現

8つのビジョンと
基盤整備

京都産業の強みである多様性を生かしながら、より様々な主体が連携・融合することでのしなやかな産業構造を創り上げ、リスクに強く、社会課題を解決し、世界に通用するオープンイノベーションを生み出し続ける持続可能な産業社会を創造

初年度（令和5年度）の主な成果

スタートアップカンファレンスの開催

- スタートアップ企業の海外展開を促進するため、海外企業と競い合うピッチ会や投資家等との商談を行う **国内最大規模の国際イベント「IVS2023 KYOTO」を開催**
【参加者数：約10,500人（うち海外からの参加者数 約2,200人）】
- **「スタートアップ京都国際賞」を創設**し、受賞企業に最大1,000万円を支援。



外国人起業家の支援

- 府内で起業を目指す外国人起業環境の充実に向け、起業・定着までのワンストップ支援窓口 **「京都国際スタートアップセンター」を開設** 【令和5年7月】



到達目標及び達成状況

目標	実績数値(R5)	達成率
▶ 「スタートアップ・エコシステム形成を通じたスタートアップ企業設立数(累計)」を 133件 にする	34件 (R6.3月時点)	25.6%
▶ 「京都中小企業事業継続・創生支援センターの支援を通じて成功した後継候補者マッチング件数(累計)」を 240件 にする	63件 (R6.3月時点)	26.3%
▶ 「海外ビジネスセンター等の支援を通じて新たに設置した「京もの海外常設店・コーナー」設置数」を 50店舗 に増加させる	35店舗 (R6.3月時点)	70.0%
▶ 「農林水産業の産出額」を 802億円 に増加させる	※R7.3月頃 公表予定	—

方策毎の取組状況(例)

総合計画に掲げた主要な方策(抄)

- ▶ 関西文化学術研究都市において、「食」に関する研究機関やスタートアップ企業の集積の促進などにより、オープンイノベーションの場を創出

令和5年度の進捗状況

京都の食文化と最先端技術の融合を目指し、企業等による展示や国内外のゲストによる講演等により、国内外のフードテックの取組を発信する**京都フードテックエキスポを初開催**

令和6年度以降の方向性

京都ならではの取組を推進するため、**技術の集積や異業種連携による新商品の開発支援**や**京都府南部総合地方卸売市場に設置するオープンイノベーションラボの基本・実施設計に着手**

⑦ 文化の力で世界に貢献する京都の実現

8つのビジョンと
基盤整備

歴史に裏付けられた、伝統文化から最先端の文化までが共存する、多様性と寛容性のある京都の文化を土台として京都から文化創造・発信を行い、多彩な交流を図ることで、活力と潤いのある豊かな社会を築き上げ、世界に貢献する「文化の都・京都」を実現

初年度（令和5年度）の主な成果

文化庁の京都移転を契機とした文化振興

- 文化庁京都移転を契機とした新たな文化施策の展開に向けて、京都中を文化で彩る取組として、**文化庁京都移転 記念事業Opening Celebration 「きょう ハレの日、」**を市町村等と連携して府内各地で開催



写真：福羅広幸（兄弟エレキ）



国際的なアートフェアの開催

- 京都を現代アートの制作・発表・販売の世界的拠点とすることを目指し、**日本と海外のギャラリー、行政と民間など様々なコラボレーションをコンセプトにした日本最大級の国際的なアートフェア「Art Collaboration Kyoto」**をはじめ、国際的なアートフェアを開催

「Art Collaboration Kyoto」
(R5.10.28~30)



<Art Collaboration Kyotoにおける実績>

出展ギャラリー：**64軒**（国内35軒、海外29軒）

入場者数（延べ）：**約20,400人** 販売成約額：**約4億円**

到達目標及び達成状況

目標	実績数値(R5)	達成率
▶ 「府内のアートフェア等に参加する若手アーティスト（40歳以下）の数」を 200人 に増加させる	162人 (R6.3月時点)	81.0%
▶ 「府内のアートフェア等における販売額」を 4億7,200万円 にする	4億9,730万円 (R6.3月時点)	105.4%
▶ 「文化・芸術に関りを持つ（鑑賞・体験含む）人の割合」を 90.0% に上昇させる	63.8% (R6.3月時点)	70.9%
▶ 「歴史的な文化遺産や文化財などが社会全体で守られ、活用されていると思う人の割合」を 90.0% に上昇させる	83.3% (R5.5月時点)	92.6%

方策毎の取組状況（例）

総合計画に掲げた主要な方策（抄）

- ▶ プロやアマの音楽家をはじめ、音楽家を夢見る人々が世界中から集まり、交流し、新しい音楽を創造・発信する「“ミュージックフュージョン”京都国際音楽祭（仮称）」を開催

令和5年度の進捗状況

音楽祭の開催に向けて、**有識者を交えた課題整理や対応策の検討**、準備業務等の実施

令和6年度以降の方向性

令和6年度は大阪・関西万博開催年に向けた機運醸成のため、**府内各地で室内楽コンサート等のイベントを実施**。京都市の取組とも連携し、オール京都が一体となり「文化の都・京都」を広く世界に発信

⑧ 交流と連携による活力ある京都の実現

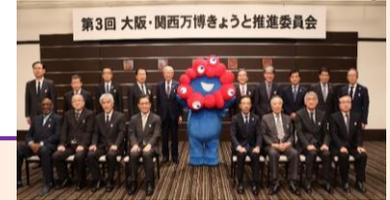
8つのビジョンと
基盤整備

大学の集積や大都市から地方への分散の機運を生かした多様な主体による交流と連携をベースに、それぞれの地域のポテンシャルと持続可能性を高め、国内外から人や企業を惹きつける魅力と活力に溢れる地域づくりを促進

初年度（令和5年度）の主な成果

「大阪・関西万博」の開催

- 有識者や経済団体等からなる **オール京都の推進体制の「大阪・関西万博きょうと推進委員会」を設置**の上、**「大阪・関西万博きょうとアクションプラン」を策定**し、万博を契機として、府内各地に人や投資を呼び込むための機運醸成や誘客促進に取り組むとともに、ゲートウェイとなる **万博会場内の京都ブースの基本設計**を実施



大学生の活躍機会の創出

- 大学、行政の連携により「大学・学生のまち京都」の魅力を充実強化するため、「京都府地域共創大学連携会議」において、大学と連携して実施する共同事業を募集し、**学生の活躍が見込まれる府政分野における共同事業を実施**するなど、「学生とともにのばす京都プロジェクト」を推進



「学生とともにのばす京都プロジェクト」

到達目標及び達成状況

目標	実績数値(R5)	達成率
▶ 「京都府への移住者数（累計）」について 7,000人 をめざす	1,210人 (R6.3月時点)	17.3%
▶ 「住んでいる地域（市町村）の観光資源が活用されていると思う人の割合」を 63.0% に上昇させる	49.2% (R5.5月時点)	78.1%
▶ 「プロスポーツをテレビやインターネットではなく、会場で観戦したいと思う人の割合」を 70.0% に上昇させる	58.5% (R5.5月時点)	83.6%

方策毎の取組状況（例）

総合計画に掲げた主要な方策（抄）

- ▶ 「海の京都」、「森の京都」、「お茶の京都」、「竹の里・乙訓」の「もうひとつの京都」と京都市の「とっておきの京都」との連携による、観光を入り口とした府域の活性化

令和5年度の進捗状況

「京都西山×竹の里乙訓」地域でのインバウンド向けモニターツアーを府市連携で実施
【令和6年度から商品化】

令和6年度以降の方向性

第1回府市トップミーティング（令和6年4月11日）での合意事項に基づき、**府市の多様なエリアの魅力を活かした周遊観光ツアーを造成**し、効果検証を行うとともに、**旅行事業者向けのファミトリップ**等を実施

また、第2回府市トップミーティング（令和6年7月23日）において、府市共通の周遊観光に係るキャッチコピーを**「まるっと京都」**とすることを発表し、旅行事業者による周遊観光ツアーを9月から実施予定

●人・物・情報・日々の生活の基盤づくり

8つのビジョンと
基盤整備

府民の暮らしを支え、新たな地域づくりを加速化させる人・物・情報・日々の生活の基盤づくりを進め、府内全ての地域で一人ひとりの夢や希望が叶えられ、地域の夢を実現できる京都づくりを促進

初年度（令和5年度）の主な成果

交流基盤の充実

- **都市計画道路宇治田原山手線の供用開始**により、建設中の新名神高速道路へのアクセスが向上することで、地域間の交流、連携、地域産業の振興に寄与

京都舞鶴港の整備

- **京都舞鶴港の港湾施設の整備**を行い、対岸諸国との物流拠点や府北部の地域振興拠点づくりを推進



【舞鶴国際ふ頭】Ⅱ期整備



宇治田原山手線

方策毎の取組状況（例）

総合計画に掲げた主要な方策（抄）

- ▶ 山陰近畿自動車道の早期全線開通に向けた整備とルート確定の促進

令和5年度の進捗状況

国庫補助を活用し、山陰近畿自動車道に係る **基礎調査を実施**

令和6年度以降の方向性

有料化に向けた設備更新、道路利用者への周知広報

京都府総合計画の令和5年度の実施状況
～ 8つの広域連携プロジェクト～

プロジェクト全体の取組状況

地域毎の強みを生かしながら、次代を担う企業や産業を創造していくための拠点づくりに府内各地で取り組むとともに、リーディングゾーン全体の磨き上げや、取組の更なる展開を図るため、広報・企業誘致を一元的に行う体制を構築し、産・学・公が連携して行う新技術の実証実験等への支援を行った。

方策毎の令和5年度の成果

■ 府内各地における産業創造リーディングゾーンの形成【アート&テクノロジー】

- ▶ 「アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都（ATVK）」を開設（令和5年10月）し、国内外の企業等が参画するテーマ別部会を設置するなどATVKを核にオープンイノベーションに取り組む産学公連携のグループを形成



■ 府内各地における産業創造リーディングゾーンの形成【シルクテキスタイル産業】

- ▶ 「シルクテキスタイル・グローバル推進コンソーシアム」を核として、西陣織・京友禅・丹後織物の3産地が連携し、産地を支える生産体制の再構築を図るとともに、新たなマーケット開拓等を実施



プロジェクト全体の取組状況

2040年の京都府社会の姿として、地球環境と調和した、しなやかで強靱な「共生による環境先進地・京都の実現」を実現するため、カーボンニュートラルの実現、自然環境の保全と継承、新技術による3Rの推進など、環境・経済・社会の好循環を創出する広域連携に府域全域で取り組んだ。



方策毎の令和5年度の成果

■ 産学公が連携し、水素などの新技術や3R技術等の活用による地域課題解決を推進

- ▶ **長田野工業団地において、現地で製造した水素を巡回供給**し、燃料電池フォークリフトで活用する**地産地消の実証事業**を行うとともに産業分野における水素利活用の推進のため、**府内全域の事業者等に対するセミナー**を実施



■ 次代を担う子どもたちの豊かな感性を養い育成する自然体験プログラムや環境学習を展開

- ▶ **次世代を担う小学生や中学生に、気候変動問題について学ぶ機会を提供**するため、**府内全域の小中学校へ周知**を行い、家族でCO2を出さない生活や未来について考えていただく取組や環境学習の動画を活用したオンライン環境学習教室を開催

プロジェクト全体の取組状況

地域の文化やスポーツを活用して、地域間の交流を促進し、文化の都・京都の発信や京のジュニアスポーツアカデミー構想の推進などにより、交流の好循環を起こす広域連携に府域全域で取り組んだ。

方策毎の令和5年度の成果

- 子どもたちがやりたいスポーツに取り組めるよう、「京のジュニアスポーツアカデミー（仮称）」を創設



- ▶ 「京のジュニアスポーツアカデミー（仮称）」の創設に向け、**府内各地域の新たなスポーツ環境の構築に向けた検討会議を開催**するとともに、**府内全域の児童生徒のニーズや意向の調査**を実施

- プロスポーツチームと連携した交流事業やトップアスリートのプレーを身近に触れることのできる機会の提供

- ▶ 府内プロスポーツチームに所属するトップアスリート等を招聘し、**子ども達が様々な競技をアスリートと体験できる交流会を実施**

プロジェクト全体の取組状況

新しい産業観光の推進やミニMICEの誘致、地域と連携して活動することのできる拠点の整備など、広域的な新たな交流と連動した、地域の活性化につながる広域連携に府域全域で取り組んだ。

方策毎の令和5年度の成果

■ 都市と田園が共存する強みを生かしたミニMICEの誘致

- ▶ 公益財団法人京都文化交流コンベンションビューローが実施する**府内各地への国際会議誘致活動や企業インセンティブツアー等**の取組を支援【国際会議開催件数：180件、参加者数：109,562人】



■ オープン工房・オープンファームなど新しい産業観光の推進

- ▶ 生産地エリアでの地域の食材を活かした魅力向上を図るため、**京都府内各地の食を中心とした観光体験を紹介する動画制作**及びWeb配信を実施【動画数：4本（海の京都、森の京都、お茶の京都、竹の里・乙訓エリア）】
- ▶ 京都市中央卸売市場第一市場新水産棟内に**府市協調で「食の京都」の情報発信拠点を設置**、オープニングイベント開催時に、**府内各地の食材の物販イベント等**を実施



⑤ 京都府北部地域連携都市圏広域連携プロジェクト

プロジェクト全体の取組状況

京都府北部の広域連携を推進するため、歴史文化や豊かな自然環境等の地域資源を活かした産業拠点の形成を図るとともに、持続可能な地域づくりを目指し、観光や産業、教育等の各分野で連携・協働して取り組む施策を進めた。

方策毎の令和5年度の成果

■ 地域における脱炭素、資源の水平リサイクル等の取組と連携するサステナブル産業の集積拠点の形成



▶ 宮津エネルギー研究所跡地を活用し、サステナブル産業の企業集積地（サステナブルパーク）を目指し、土地所有者である **関西電力や地元宮津市と連携し、関西圏企業をはじめとする様々な分野の参加企業を募り、土地活用に向けた勉強会**を実施

■ 首都圏及び阪神圏を見据えた広域観光の推進（文化・観光拠点の設置、公共交通機関との連携強化）

▶ 丹後地域の歴史・文化・観光の拠点施設となる博物館を目指し、丹後郷土資料館をリニューアル整備するため、基本設計等を行うとともに、**整備後の活用に向けて、地元と連携した文化観光フォーラムを開催**



⑥ 南丹地域スポーツ&ウェルネス&ニューライフ広域連携プロジェクト

プロジェクト全体の取組状況

南丹地域のスポーツ拠点を核に、産学公実証によるスポーツ&ウェルネスの実現に向けて多様な企業との交流を進めるとともに、スポーツ・食や癒しによる健康長寿づくりの先進モデル地域を目指したウェルネスツーリズムの商品化等を実施した。

方策毎の令和5年度の成果

■ 産学公連携によるスポーツ&ウェルネスの実現に向けた実証と人材育成

- ▶ 南丹地域のスポーツ拠点への関西経済連合会の視察受入等を契機に、**府域にとどまらないスポーツ・ウェルネス等に関連する多様な企業や大学・金融機関等との連携**を図るためのヒアリングを実施するとともに、サンガスタジアム by KYOCERAにおいて、幅広く情報交換、意見交換を行う交流会を開催

■ スポーツ、食や癒やしによる健康長寿づくりの先進モデル地域づくり

- ▶ 南丹市・京丹波町全体を「森のホテル」と捉え、**域内の宿泊施設、観光施設、飲食店と連携、森の京都ならではの価値の高い癒しのひとときを提供**するウェルネスツーリズムを商品化



⑦ 京都府南部イノベーションベルト広域連携プロジェクト

プロジェクト全体の取組状況

京都府南部地域の産業、大学・教育機関や研究機関が集積する強みを生かし、新たな産業や価値を生み出し、京都の成長エンジンとなる地域をめざして拠点整備や連携強化を図った。

方策毎の令和5年度の成果

■ 関西文化学術研究都市等の研究機関と連携し、新名神周辺エリアで、ゼロエミッション、自動走行などの先端技術を盛り込んだ近未来都市を形成

- ▶ 先行して開発が予定される **基幹物流施設などの事業者と意見交換**を進めるとともに、中間エリア（新名神高速道路以南の今後の開発予定地）の検討について、11月に城陽市が国交省のサウンディング調査に参加



■ 映画・ゲーム・アニメ・マンガ関連企業が集積するという世界でも珍しい京都の魅力を生かした、メタバース時代をリードするコンテンツ産業の育成

- ▶ コンテンツ関連企業と異業種との交流・共創・実証に向けて、集積企業のラボを設置し、社会実装まで完結できる **メディアパークの具体化に係る調査検討**を実施するとともに、**産学連携による新産業創出のための情報交換**等を実施

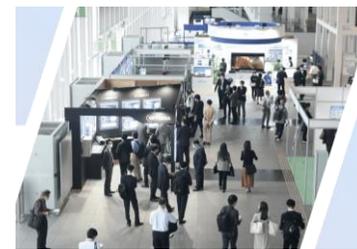
⑧ グレーターけいはんな広域連携プロジェクト

プロジェクト全体の取組状況

関西文化学術研究都市における研究機関等の集積を生かした都市づくりを進め、新たなイノベーション創出を目指した交流を促進するとともに、相楽東部地域における交流人口・関係人口の拡大に向けた取組を地元自治体と連携して行った。

方策毎の令和5年度の成果

- 国内外のオープンイノベーション拠点やスタートアップ企業等との連携によるオープンイノベーションの促進



- ▶ 「京都スマートシティエキスポ」の開催など、スマートシティの推進を軸としたスタートアップ企業の集積・交流を通じ、文化と学術研究が融合したまちづくりを促進
【京都スマートシティエキスポにおけるビジネスマッチング件数：42件】

- きづ川アクティビティパークの整備

- ▶ 周辺都市部からの交流人口、関係人口の拡大を図るため、相楽東部（笠置町、和束町、南山城村）の豊かな「自然」を満喫できる「京都きづ川アクティビティキャンペーン」等を 地元町村と連携して開催



<総合計画策定時には想定していなかった新たな連携方策の創出状況>

「環境」や「観光・交流」等の分野において、社会経済情勢の変化等を踏まえた、**府内全域に広がる新たな連携方策を創出**（補正予算等において事業化し実施）

令和5年度の成果

■ 地域金融機関と連携した、中小企業の脱炭素化への支援【環境】

▶ **地域金融機関と連携し、脱炭素に取り組む府内全域の中小企業等への融資金利を優遇する仕組みを創設**（京都ゼロカーボン・フレームワーク）し、住宅用太陽光発電設備の設置等を支援することで、中小企業の脱炭素化を促進



【令和5年11月に「プラチナ大賞」（（一社）プラチナ構想ネットワーク）を受賞】

■ 公共交通機関を利用した周遊観光の促進【観光・交流】

▶ **位置情報アプリを活用した府域周遊観光イベント**を開催するとともに、公共交通機関及び府内観光施設等でのスタンプ取得により、**抽選で府内産品等をプレゼント**し、**府内全域への周遊観光を促進**

京都府総合計画の令和5年度の実施状況
(参考) 数値目標

令和5年度の実施状況（数値目標）

- ▶ 令和5(2023)年に参考年間目標(※)を達成した項目(100%以上)は46.8%、**70%以上となる項目については約9割**となる見通し

令和5年度対象項目数	77	(割合)
参考年間目標に対する達成率が70%以上	69	(89.6%)
〃 80%以上	65	(84.4%)
〃 90%以上	57	(74.0%)
〃 100%以上	36	(46.8%)

- ▶ 項目数は112あるが、R5に参考年間目標の設定がない、またはR6.8.20時点で数値が未公表の35項目を除いた77項目で集計

※計画満了年度に最終目標数値を達成するために、各年度に達成すべき目標数値

令和5年度の実施状況（数値目標）

参考資料1 参照

【R6.8.20現在】

分野	指標数	項目数 ※	R5 対象 項目数	参考年間目標の達成率			
				70% 以上	80% 以上	90% 以上	100% 以上
①希望あふれる子育て	7	7	6	5	5	4	1
②夢を実現する教育	6	10	6	5	5	5	4
③安心できる健康・医療と人生100年時代	7	12	3	3	3	2	1
④安心できる介護・福祉の実現	4	4	4	4	4	4	1
⑤人権が尊重される社会	4	4	3	3	3	3	0
⑥男性も女性も誰もが活躍できる社会	4	4	4	3	2	2	0
⑦障害者が暮らしやすい社会	5	5	3	1	1	1	1
⑧留学生・外国人が生き生きと暮らせる社会	3	3	2	2	2	2	1
⑨コミュニティが大切にされる社会	7	7	6	4	4	3	3
⑩誰もが親しみ夢が広がるスポーツ	4	4	3	3	3	2	2
⑪文化力による未来づくり	4	4	4	4	3	3	1
⑫産業の創出・成長・発展と継承	6	6	6	6	6	6	5
⑬交流機会を創出する観光	4	4	4	4	4	4	3
⑭雇用の安定・確保と人材育成	7	7	5	5	4	4	3
⑮農林水産業の成長産業化	6	6	2	2	2	2	2
⑯しなやかで災害に強い地域	4	4	3	3	3	3	1
⑰犯罪や事故のない暮らし	4	4	2	1	1	1	1
⑱脱炭素社会へのチャレンジ	5	5	0	0	0	0	0
⑲成長・交流・情報・暮らしの基盤づくり	3	3	2	2	1	0	0
⑳もうひとつの京都の推進と地域連携	9	9	9	9	9	6	6
合計	103	112	77	69	65	57	36

※基本計画に掲げた数値目標103指標のうち、校種別、男女別、部位別に数値目標を掲げている指標について、それぞれを別項目としてカウント